**第２０回なのはなコンペ（2022年度）　申請書**

提出日　　　　年　　　月　　　日

グループの場合は、氏名の欄にグループ名を記載し、別紙にメンバーを記載の上添付してください。

|  |
| --- |
| ビジネスプラン名： |
| グループ名（ある場合）： |
| 不採択の場合、他チームに加わりワークショップへの参加を希望しますか（Yes／No） |
| 代表者フリガナ氏名　　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　連絡先　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　・電話　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　・e-mail ：　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導教員：　　　　　　　　　　　　　　　　　　 | 所　属・大学院名（部局名）：　　　　　　　　　　　（教職員の方は）職名：　　　（学生の方は）：修士　　年　・　博士　　年 |
| 共同チームメンバー１フリガナ氏名　　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　連絡先　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　・電話　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　・e-mail ：　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導教員：　　　　　　　　　　　　　　　　　　 | 所　属・大学院名（部局名）：　　　　　　　　　　　（教職員の方は）職名：　　　（学生の方は）：修士　　年　・　博士　　年 |
| 共同チームメンバー２フリガナ氏名　　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　連絡先　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　・電話　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　・e-mail ：　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導教員：　　　　　　　　　　　　　　　　　　 | 所　属・大学院名（部局名）：　　　　　　　　　　　（教職員の方は）職名：　　　（学生の方は）：修士　　年　・　博士　　年 |

|  |  |
| --- | --- |
| 研究室に帰属する研究成果の活用を予定している場合、当該研究室の教員の了承が必要です：指導教員の署名を右欄に記述ください。 | 第20回なのはなコンペの申請代表者が、本研究室の研究成果の活用を企図したビジネスプランを作成し、本コンペに申請することに同意致します。署名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

以下の1～5の項目について記載し、A4・3頁で提出してください。枠の大きさは、1～4の項目を2頁以内で作成してください。5の項目に該当するものがない場合は「特になし」と記載してください。

1. ビジネスプランの起点と概要

|  |
| --- |
| （１）本申請のビジネスプランで解決したい課題（２）ビジネスプランの概要　　①商品・サービス内容　　②外部環境（市場、競合等）　　　　　③特に強調したいビジネスプランの強み |

# 2. 活用を計画している研究シーズの強み

|  |
| --- |
| （１）研究シーズのポイント（２）競合と比較して申請者のシーズの強み |

|  |
| --- |
| （１）Gap資金の使途　（最優秀賞300万円、優秀賞100万円）　　例１：PoC取得のための研究開発費（データ取得等）　　例２：ビジネスプランブラッシュアップのための、アクセラレーションプログラム参加費用（２）Gap資金の使用計画　　例１：2022年度11月～3月：PoC取得のための●●●の研究開発（80万円）　　　　　2023年度4月～6月：PoC取得後の特許出願費用（40万円）　　例２：2022年度12月：●●●のアクセラレーションプログラムに参加（20万円）　　　　　2023年度4月：起業のための先行技術調査（20万円）、市場調査（20万円） |

# ３.計画

# 4. ビジネスプランの全体像（図を用いて1枚で説明）

|  |
| --- |
| 例* 本申請のビジネスプラン主体は、●●年に起業を予定している株式会社A。
* 販売会社Bと連携して顧客に商品を展開するBtoBビジネス
* 1個●●円で販売して、年間●●個、●●円の売上を2025年に計画している
* ファブレスを想定していて製造連携企業Cに製造委託の予定
* 千葉大学の●●研究室のシーズは、製品の××に必須で、特許ライセンスを受けるなどする計画

製造連携企業C●●円/1個顧客連携研究成果の活用販売会社B千葉大学●●研究室のシーズ技術株式会社A |

５.　その他（学会発表・論文・特許申請や特許取得などがあれば記載してください。）